

各 位

2025 年 12 月 19 日
SBI ホールディングス株式会社

**SBI グループのランサムウェア対策と事業レジリエンス強化に向けた
ゼロトラストセキュリティソリューション
「Akamai Guardicore Segmentation」導入のお知らせ**

当社は、当社グループ全体のランサムウェア対策と事業レジリエンス強化を実現するべく、アカマイ・テクノロジーズ合同会社（本社：東京都中央区、職務執行者社長：日隈 寛和、以下「Akamai」）の提供する最先端ソリューション「Akamai Guardicore Segmentation」（以下、「AGS」）を導入いたしましたので、お知らせいたします。

近年、国内では企業の事業継続を脅かすランサムウェア被害が深刻化しており、製造、物流、金融など社会インフラを支える業界でも相次いでサービス停止や出荷停止に陥る事案が発生しています。特に、サプライチェーンを経由した侵入や、正規の管理ツールを悪用する「Living off the Land (LotL)」型攻撃など脅威は進化しており、従来型の対策では検知・防御が困難になっています。

当社は、こうした高度化・複雑化する脅威に対して、「可視化」と「分離」を中心とした防御戦略に舵を切り、グループ全体のゼロトラスト基盤構築を推進しています。

当社グループは、銀行・証券・保険などの金融サービスに加え、資産運用、ベンチャーキャピタル、暗号資産、バイオ・ヘルスケア、メディア等、多様な事業を展開し、600 社を超える連結子会社と 1 万 8,000 人を超える従業員を擁します。その為、IT 環境も極めて多様で、複数のパブリッククラウド、オンプレミスのデータセンター、さらにはレガシーシステムまでが混在し、グループ全体で数千台の端末と数百台のサーバが稼働しています。

この複雑な環境を前提に、当社では更なるセキュリティ強化に向け、次の 3 つの要件を満たすマイクロセグメンテーション製品の選定を進めておりました。

◆ マルチクラウド／マルチ OS 対応

クラウド、オンプレミスを問わず、同一のセキュリティポリシーを適用できること

◆ 国内リージョン対応

データガバナンスの観点から、自社データを国内リージョンで厳格に管理できること

◆ 運用の効率性

限られたセキュリティ人材でグループ全体を一元的に管理できる持続可能な運用モデル



であること

そして比較検討を行った結果、Akamai の提供する AGS を採用・導入しました。AGS はネットワークをマイクロレベルでセグメント化して、グループ内、組織内でやり取りされている通信を可視化・制御でき、攻撃の横展開を防ぐゼロトラストセキュリティソリューションです。選定に当たって、当社が評価したポイントは、以下の通りです。

◆ 可視化機能

これまで意図していなかった通信経路が確認できた

◆ セキュリティポリシー

ラベルベースのポリシー管理により、IP アドレスが動的に変化するクラウド環境でも一貫したセキュリティポリシーを維持

◆ 脊威ハンティング機能

AIと機械学習を活用した脅威ハンティング機能「Akamai Hunt」は、潜伏型の攻撃やLotL攻撃の兆候に対し、早期の検知・封じ込めが可能

◆ 運用の効率性

ラベルベース管理機能に加えて、事前構築済みテンプレートを使うことで、最小限のリソースで効率的な運用が可能

当社は、今回の AGS の導入により、グループ全体のレジリエンスの強化とゼロトラストの実現によるセキュリティ強化を加速化し、お客様の個人情報を含む情報資産の保護や自社 IT インフラの防衛力向上を実現してまいります。

【Akamai 社の概要】

商号	アカマイ・テクノロジーズ合同会社
所在地	東京都中央区八重洲 2-2-1
代表者	職務執行者社長 日隈 寛和
設立年	1998 年
URL	https://www.akamai.com/ja

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：
SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126